

議会閉会中も案件の審査・調査を行う委員会。その活動内容をお知らせします。



▲楽しい給食風景（播磨中学校）



## 総務建設

### 主要計画の進行を確認

■12月27日・1月31日・2月7日開催  
 都市計画グループ  
 都市計画マスタープランとは  
 都市計画法第18条の2の「市町村の都市計画に関する基本的な方針」のことを指し、町の最上位計画である「第4次播磨

町総合計画」などを踏まえ、10年後を目標年次とした都市計画の基本的な方針を示すものである。  
**見直しの進行状況**  
 見直し案について、3回にわたり計画の役割や期間、課題や目指すべき都市像、実現化策など詳細な説明を受けた。  
**Q** さらに防災対策を盛り

播磨中学校にて給食や校内バリアフリー化などの視察を行った。  
 不登校生問題に対しては、担当が足しげく家庭訪問しての声掛けや、スクールカウンセラー・アシスタントによる支援など様々な取り組みによ

■12月19日開催

## 不登校生は減少傾向にある

り、現在減少している。

各グループの主要事業などの進行状況について説明を受けた。  
**Q** 消費者問題対策については、住民グループでは専門相談員による窓口での相談業務や被害発生予防・拡大防止対策のため

■1月18日開催

## 厚生教育

小中学校で連続して発生したガラス破損事件について説明を受けた。  
**Q** 防犯体制は。  
**A** 校園長会や生徒指導担当者会、青少年問題協議会などを開催。警察との情報共有や連携体制づく

■2月9日開催

の研修や多様な啓発活動を実施している。  
**Q** 予防接種事業  
**A** 「まちをきれいにする条例」の取り組みと成果



▲津波災害時の一時避難に期待される高層ビル

込む考えは。  
**A** 国・県の新たな方針により、地域防災計画や水防計画決定に基づき見直しなどの検討をしたい。

### その他の質疑

そのほかに道路整備や人口維持、防災や新島企業誘致、密集市街地におけるまちづくりなどの質

### 危機管理グループ

12月27日、1月31日の2日間、兵庫県津波浸水想定区域図（暫定）や避難所と津波避難ビルの指定状況など、防災に関して説明を受けた。  
**Q** 全般に防災対策の行動が遅すぎるのでは。  
**A** いろいろと検討を加える必要性があるので、対策が遅れる原因となっている。

疑を行った。

りを進め、地域ではあいさつ運動などを進める。  
**Q** ごみ収集における課題「ごみステーションでの持ち去り」などについて説明を受けた。  
**Q** 資源ごみなどの持ち去りは犯罪なのでは。  
**A** ごみステーションに置いた直後から廃棄目的とみなされ、窃盗罪は適用されない可能性が高い。  
**Q** インフルエンザによる学級閉鎖の状況説明

## 土山駅南の町有地の整備は

青雲21代表質問  
 藤原 秀策



### 町長 A 検討委員会を立ち上げたい

**問** JR土山駅南の約5000㎡の町有地の活用は、土地調査を先行し、町の玄関口にふさわしいあり方を検討するとのことだが、平成24年度に結論を出すのか。  
**答** 学識経験者などによる検討委員会を立ち上げ、基本方針と事業化の方針を策定したい。また、土壌汚染、地中埋設物の有無も調査を行いたい。  
**問** 活用はゼロから検討するのか。また、以前の計画はどうなったのか。



▲整備の方針・策定が待たれる町有地

**問** JR土山駅南の約5000㎡の町有地の活用は、土地調査を先行し、町の玄関口にふさわしいあり方を検討するとのことだが、平成24年度に結論を出すのか。  
**答** この事業は緊急的な景気の刺激策として、町がプレミアム分を100%負担して実施し、アンケート結果からも非常に効果があったと分析している。しかし、恒久的に実施する事業ではないと考えており、平成22年度で終了している。

その計画は白紙に戻すが、これまでの検討は参考にさせていただく。駅利用者や地元の利用者などを考え、賑わいと交流の場を設け、地域の特性を生かした魅力ある景観づくりをと考えている。

町長 ▲平成22年度で終了

### プレミアム付き商品券は

**問** 平成24年度もプレミアム付き商品券の発行予定がない。昨年3月定例会でも、これに関する質問で「アンケートの結果を分析しながら、商工会と連携して商工業振興を図る」と答弁しているが、どうなっているのか。  
**答** 平成24年度もプレミアム付き商品券の発行予定がない。昨年の3月定例会でも、これに関する質問で「アンケートの結果を分析しながら、商工会と連携して商工業振興を図る」と答弁しているが、どうなっているのか。

## 町長施政方針を問う

公明党代表質問  
 宮尾 尚子



### 町長 A 土山駅南側を賑わいの拠点に



▲予定されていたイルミネーションの設置場所

**問** 地域の防災拠点にということ、学校の耐震化や津波対策を文部科学省が推進している。海岸部に最も近い小・中学校が「救命避難期」の役割を担えるのか。  
**答** 県の公表では警戒区域外となっている。避難場所として対応すべき各種内容については、教育委員会と危機管理グループと協議して進めていく。  
**問** 学童保育の公設化に伴い保護者との連携・協力の図り方と、積立金の

清算の公表はどのようになるのか。  
**答** 月一回程度は町、保護者、指定管理者と話し合いを持つ。  
 積立金の処分については報告を求めたい。  
**問** 町内業者による住宅リフォームの助成にあわせ、エコリフォームのポイントで東日本の被災地の特産品を買う「住宅エコポイント制度」も推進すべきでは。  
**答** 町内業者が施工するリフォーム工事で、20万円以上の工事費に対して費用の10%で上限10万円の補助を行う。  
 業者説明会を予定しており、併せてこの制度の説明もするので推進につながるかと考えている。  
**問** JR土山駅南側の静かな環境を提供すべき病院側に、イルミネーションが必要なのか。  
**答** 住民の寄附によるもので、会話の中でそのような話になった。